

記者発表資料

6月は土砂災害防止月間！ 小・中学校を対象とした「砂防学習会」を開催します

国土交通省では、土砂災害の防止及び軽減に関して国民の関心と認識を深めるため、昭和58年度より毎年6月1日から6月30日までを「土砂災害防止月間」として、防災知識の普及・警戒避難体制整備の促進等に努めています。

四国山地砂防事務所では、土砂災害防止月間の取組みの一環として、**いの町立伊野小学校、東温市立川内中学校の2校において「砂防学習会」を開催し、土砂災害の前兆現象や早期の避難などについての講義と降雨体験装置、土石流3D体感シアターを用いた体験型学習**を行います。

また、土砂災害防止月間中には、このほかにものぼり旗の設置、土砂災害パネル展などを実施します。

令和元年6月3日

国土交通省 四国地方整備局

四国山地砂防事務所

本施策は、四国圏広域地方計画『No.1 南海トラフ地震を始めとする大規模自然災害への「支国」防災力向上プロジェクト』の取り組みに該当します。

お問い合わせ先（○主な問い合わせ先）

国土交通省四国地方整備局 四国山地砂防事務所

副所長（技術） 白石 隆 （内線 204）

○調査課長 奥山 悠木 （内線 351）

電話0883-72-5400（代表）

令和元年度 土砂災害防止月間活動計画 (四国山地砂防事務所)

1. 砂防学習会の開催

- ・ 6月19日(水) いの町立伊野小学校
- ・ 6月24日(月) 東温市立川内中学校

<内容>

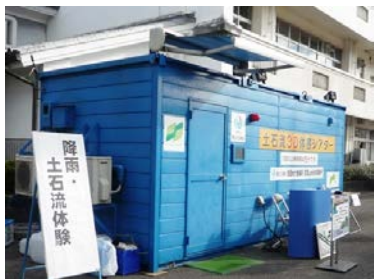
- ・ 四国山地砂防事務所職員による土砂災害の前兆現象や早期の避難などについての講義
- ・ 降雨体験装置、土石流3D体感シアターを用いた体験学習

土砂災害の前兆現象や早期の避難などについての講義



土砂災害ってなに？
なぜ日本は土砂災害が多いの？
早く気づいて避難するにはどうすればいいの？
土砂災害から命や暮らしを守るための知識について
四国山地砂防事務所職員が分かりやすく説明します。

土石流3D体感シアター



土石流が発生する予兆や発生時に起こる現象を、立体映像・音響・照明・により擬似体験し、土砂災害への備えや教訓を学ぶことができます。

降雨体験装置



大雨の恐ろしさを体験できる装置。雨量10mm・30mm・100mm・180mmと次第に増加していく雨量の体験と同時に、ナレーションにより降り方の特徴や心構え、災害履歴などを紹介します。

2. 土砂災害パネル展の開催

かずら橋夢舞台内イベント会場(6/3～6/11)、本山町プラチナセンター(6/11～6/18)、三好市池田町総合体育館(6/18～6/28)の3カ所にて巡回展示を行う。



(H30 年度実施状況)

3. ポスターによる広報（6月3日～28日）

ポスターを関係8ヶ市町村（徳島県三好市、高知県大豊町、本山町、土佐町、大川村、いの町、北川村、愛媛県東温市）市役所・役場・公民館等で掲示。

4. 横断幕、のぼり等による広報（6月3日～7月1日）

四国山地砂防事務所・重信川砂防出張所・吉野川砂防出張所・祖谷監督官詰所・大豊監督官詰所・北川村詰所・関係8ヶ市町村役場のほか JR 阿波池田駅、管内の道の駅などで掲示。